

## 1 学習指導要領と子どもの居場所について

## (1) 教育の情報化の推進

- ① 磐田市の教育の情報化ビジョンについて、短期、中長期の目標とその取り組み状況、今後の整備計画は。合わせて学習指導要領に対応した施策や動きは。
- ② 学校におけるICT環境整備計画について、整備期間、目標数と整備費用、現在の進捗状況、今後の計画、成果と課題・問題点は。合わせて主なICT機器のパソコンやタブレット端末、プロジェクタ・電子黒板、デジタルテレビ・大型ディスプレイなどの設置状況並びに普通教室やコンピュータ教室、特別教室の教室別の設置状況は。
- ③ 学習用ソフトウェア（教育用コンテンツ）やデジタル教科書の整備状況、評価や課題・問題点、今後の計画は。特に国では、タブレット端末に収めたデジタル教科書は、次期学習指導要領で実施されることが望ましいと言っているが、考え方と対応は。
- ④ 教員のICT活用指導力の向上と環境の整備の現状と今後は。合わせてコンピュータ教育研究委員会のこれまでの取り組み状況と成果と課題・問題点は。
- ⑤ 社会の変化とともに“教育の情報化”は学校教育においても重要な位置を占めている。「磐田の教育」の方針や施策に“(仮称)教育の情報化の推進”を加えたらいかがかと思うが見解は。合わせて“教育の情報化”の見える化の見解は。
- ⑥ 教育の情報化の予算について、国は、“教育のICT機器整備の必要経費は地方交付税に一括算定されているため使途に留意すること”とある。磐田市の考え方と対応は。合わせて、周辺市町の教育の情報化を見るとデジタルデバイド（情報格差）の懸念があるが考え方は。

- (2) 放課後子どもプラン（放課後児童クラブ、放課後子ども教室）の推進  
磐田市は、平成18年の放課後子どもプラン創設の当時「全小学校区で放課後の安全な子どもの居場所づくりの推進」を掲げ、教育委員会が主導する中で福祉部局との連携の下に実施してきた。放課後子どもプラ

ンを推進する中で、これまでの取り組み状況、成果と課題・問題点、運営方法等の大胆な見直しの考え方、今後の進め方や予定は。

## 2 地震、津波、防災対策について

### (1) 防潮堤の建設

防潮堤の整備工事は、工事区間が約 1.1 km、事業費が約 30 億円、期間が 20 年間と長期に亘る工事で、市民からは工事の実施状況や進捗状況が分かりにくいとの声がある。市民への理解と認識並びに分かり易さや見える化について市の基本的な考え方と対応策は。

### (2) 原子力災害対策

① 中部電力と静岡県・5市2町の安全協定締結は難航したと聞きくが、磐田市が当初の描いていた考え方や思いと最終合意に達した時の中身を比較対象し、評価について考え方は。

② 今回締結された静岡県・5市2町の安全協定は、静岡県・4市の安全協定と類似しているが表現が若干違う。安全協定の相違点について考え方は。

③ 安全協定締結により、静岡県・5市2町との間で、定期的な会合等が開催されると思うが、今後の継続した取り組みや連携をどのように図るのか。

④ 広域避難計画の策定について、静岡県から県外の避難先が示され、これから計画の策定に入ると思うが、策定スケジュール、住民への説明と原子力災害の避難訓練予定時期、課題・問題点は。

### (3) 東海地震対策の見直し議論

国は、南海トラフ巨大地震の想定見直しなどを受けて、地震予知を前提とした東海地震対策について、現在の対策の妥当性などについて見直しを含めて議論することになったが、磐田市の防災対策や対応に影響を及ぼすと思われるが見解は。

(4) タイムライン

磐田市は導入し、既に1年近く経過したが、タイムラインのこれまでの取り組み状況と評価は。

3 (仮称) 磐田市文化会館建設に関わる課題について

(1) 磐田市民文化会館の跡地利用

中心市街地の活性化の観点から、多くの来客数を数える磐田市民文化会館の跡地利用について、どのような活用策を考えているのか。

(2) (仮称) 磐田市文化会館への公共交通

現在、JR豊田町駅から(仮称)磐田市文化会館までは公共交通の手段が無い。今後どのような方法で検討され結論を出すのか。